

# 令和6年度 新人看護職員研修計画

令和6年4月1日

新人看護職員研修運営委員会

※既卒採用者、中途採用者については基礎教育が赤十字関連以外の場合、「赤十字」「グローバルヘルス」の研修受講は必須（日看協クリニカルリーダー取得者でも同じ）、医療安全（安全、感染）メンタルヘルスについては施設での取り組みがあることから研修受講は推奨

※当院看護職員でラダーレベルⅡ申請者であっても、本研修計画の受講を妨げるものではない

※研修申し込み方法：看護勤務支援システム>ラダーメニュー>研修申し込み>受講する研修を選択（勤務計画があるため2か月先の研修を申し込みこと）

※研修会場は全て多目的ホール1.2 OJT研修の場合は各部署で実施

研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
令和6年度実地指導者研修		4月～ ALB2452/2453 8月～ALB2303	1.新人看護職員教育ガイドラインから、実地指導者の役割・求められる行動・態度を理解し実践する 2.教育技法を学び、新人看護職員との省察の際に実践する	令和6年教育担当者研修受講者が部署で実施	4月1日～4月30日に計画を立案し実施する
プリセプターFU研修 (実地指導者が参加しても良い)	(92) (93) (94)	4月～ALA2401 5月～ALA2402 ※上記は視聴必須 ALB2452/2453/2456 8月～ALB2403	4月・5月：ティーチングとコーチング 6月・7月：リフレクション 8月・9月：ファシリテーション 10月：プリセプターの看護観 11月：プリセプターの看護観 12月・1月：対応に配慮が必要な場合の支援 2月・3月：プリセプターマインド	新人看護職員研修運営委員長/ 新人看護職員研修運営委員 (小グループ)	16時～17時 4/25(木) 5/21(火) 6/25(火) 7/25(木) 8/22(木) 9/26(火) 10/24(木) 11/21(木) 12/26(木) R7/01/23(木) R7/02/27(木)
令和4年度 採用看護職員 事例検討提出日：令和6年7月末日					

4月					
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
看護基礎研修/ 看護部	(27) (32) (33) (38) (43) (48) (23) (26)	CK2401/2402/2403 FB2452	看護職員としての自覚を持ち、配属先において看護部職務規定における「助産師」「看護師」として行動するための基礎を身につける	看護部	4月2日(火) 4月3日(水) 4月4日(木) 8時30分～17時 ※4/4は 8時30分～12時30分
新社会人研修		CK2404	検討中：他職種と合同研修がねらい	看護部	詳細未定
観察/基礎看護技術 FU ◎HCUO5B	(6) (9) (10) (11) (25)	AA2401/2402	1.対象の観察をフィジカルイグザミネーションで行い、看護アセスメントができる 2.手順に基づいた基本的看護技術を学びなおし、OJTで活用し対象に合わせて実施することができる 3.日常ケアに必要なフィジカルアセスメント能力を高めるための、基本的知識を理解し実践で活用することができる	急性・重症ケア専門看護師 各部署教育担当者	4月5日(金) 8時30分～17時
ナラティブ発表会/ ◎委員長	(23) (24) (25) (26)	AA2411	1年間の看護実践場面において心に残っている場면을3段階法で振り返り「大切にしたい看護」を概念化する		4月4日(木) 13時30分～17時
看護過程研修/ ◎各部署教育担当者 ○各部署係長	(7) (9) (10) (18) (21) ※レベルⅠ認定済みのものは (59) (60) (69)	AA2412/2461	受け持ち患者の看護過程を「身体的」「精神的」「社会的」「スピリチュアル」な側面から展開し、チームメンバーと共有し、看護実践が途切れないよう看護計画が修正できる ※研修日前日までに関連図を教育担当者へ提出すること	各部署教育担当者	【OJT】 4月2日(火)
赤十字原則と看護倫理/ ◎副委員長	(15) (16) (19) (20)	「若葉と読む赤十字基本原則」(図書室)	1.赤十字基本原則を理解し、優先順位を判断する際に活用することができる 2.「看護者の倫理綱領：日本看護協会」の実践が赤十字原則に繋がることに臨床現場で気づくことができる	倫理委員長	4月9日(火) 13時30分～15時
赤十字看護基礎編/ ◎GAO新生児	(1) (2) (3) (4) (5) (41)	秋田赤十字病院BCP 災害対策マニュアル 部署BCP/災害対策マニュアル	1.災害対策マニュアルの発生時の初期行動が分かり、「自分の安全確保」「患者の安全確保」「職場の安全確保」をリーダースタッフ指示の下行動できる 2.災害発生時の自主参集基準を理解し、参集する際に携行する防災用品を確保、準備しておくことができる 3.部署の避難経路を把握し、避難用具を用いた避難行動を指示に基づいて実施できる	看護部災害対策チーム	4月9日(火) 15時～17時
フォローアップ研修 /◎委員長	(43) (44) (45)	AA2411	「自己教育における課題に気づき」1年間の計画を各部署看護目標から立案・実施・評価ができる	※年間計画書の提出は 5/7(月)10:00 教育担当者、所属師長の助言後、提出	4月10日(水) 15時～16時
看護理論		どれか一つ GS2401/2402/2406/ 2407/2408	看護理論を選択し、概念を読み込み実践場面と事例検討得ポートの「考察」に活かすことができる	師長	4月10日(水) 13時30分～15時
看護基礎研修(看護技術を支える要素としての医療安全：感染対策) /◎手術室OICU	(41)	CB2401 他：秋田赤十字病院院内感染対策マニュアル	1.当院の院内感染の基本ルールが分かり、標準予防策を実施することができる 2.手指衛生の5つのタイミングを習得し、臨床実践場面でタイミング行動ができる 3.ポケットブックを携行し、活用しながら医療安全行動が取れる	感染管理認定看護師	4月10日(水) 9時～12時30分
看護基礎研修(看護技術を支える要素としての医療安全：医療安全対策) /◎委員長	(41) (42)	AA2408/2453 CA2404 他：秋田赤十字病院医療安全対策マニュアル	1.当院の医療安全体制を理解し、転倒・転落防止対策を臨床実践場面で活用することができる 2.当院のインシデント・アクシデント報告の基本ルールが分かり、助言を得ながら実施することができる 3.患者の療養環境を整えるための「医療安全対策」を実施できる 4.患者誤嚥防止策を習得し、臨床実践場面でいかなる場面で実施することができる 5.新人看護職員が取り扱うことのできない薬剤一貫をもとに、臨床実践実践場面でその理由を行動化できる 6.看護基準、手順に基づき正しい与薬が対象に合わせて実施できる	医療安全管理者 看護部医療安全委員長 各部署医療安全リンクナー ※観察評価	4月11日(木) 9時～12時30分 4月23日(火) 13時30分～15時 【9月以降】 患者を4名担当する時期に部署で計画

## 令和6年度 新人看護職員研修計画

フィジカルアセスメント入門（呼吸・循環を整える技術FU） /◎7HCU ○4B		AA2403	1.対象に合わせた口腔ケアが実施できる 2.対象に合わせた気道・呼吸ケア、体位ドレナージが実施できる 3.酸素療法の目的を理解したうえで、指示に基づいて看護基準に沿った実践ができる（酸素マスク、カヌー、リザーバー）	各部署教育担当者	4月23日（火） 9時～12時30分
フィジカルアセスメント入門（摂食・嚥下支援技術FU） /◎4A ○5B	(6) (9) (10) (11) (25)	AA2457	1.対象の口腔機能を観察し、 <b>口腔・嚥下評価が分かる</b> 2.摂食嚥下のメカニズムが分かり、対象に合わせた食事介助が実施できる 3. <b>研修で習得した知識を想起し、助言を得ながら対象の口腔機能をアセスメントした上で実施できる</b>	各部署教育担当者 言語聴覚士	4月25日（木） 9時～16時
フィジカルアセスメント入門（褥瘡予防対策・スキンケア予防技術） /◎6B ○5A		AA2452	1.対象の皮膚を観察し、褥瘡アセスメントを助言を得ながら実施できる 2.対象に合わせた褥瘡予防ケアが助言を得ながら実施できる 3.スキンケア予防、テープ類の正しい取り扱いと患者へ及ぼす影響を理解したうえで観察ができる	皮膚排泄ケア認定看護師 特定行為研修修了者	4月30日（火） 9時～16時
メンタルヘルス研修 /◎教育責任者	(34)	CK2452	1.当院のメンタルヘルス対策が分かる 2.セルフケア、ラインケアが分かり、セルフケアの方法を見つけ実施できる 3.困っている同僚に気づき、抱え込まない対応ができる	看護部教育責任者	4月30日（火） 16時～17時

### 5月

研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
看護基礎研修/診療録としての看護記録 ◎委員長	(36)	AA2461	1.診療録における看護記録の持つ意味を理解し、助言を得ながら看護記録ができる 2.看護実践と看護記録の関連が分かり、助言を得ながら適切に記載できる 3.受け持ち患者の看護過程について助言を得ながら記録することができる	記録委員長	5月8日（水） 13時30分～16時
医療安全対策FU OJT	(41) (42) ※レベルⅠ認定済みのものは (85) (86)	CB2402/2403 秋田赤十字病院 医療安全 対策マニュアル	1.患者の療養環境を整えるための「医療安全対策」を実施できる 2.転倒転落アセスメントを行い、個別性のある看護計画立案・実施・評価ができる 3.部署の転倒・転落のインシデント報告内容を自身で分析し行動を変化することができる <b>与薬（内服）に関する医療安全基準、看護基準手順に基づいた技術が場面を問わず実践している</b>	各部署医療安全リンクナース	5月中部署内で計画し <b>後日報告書を提出</b>
フィジカルアセスメントFU（認知症・せん妄ケア） 事例検討 /◎7B ○4B	(10) (11) (18) (19) (21) ※レベルⅠ認定済みのものは (64) (66) (67) (68)	BD2401/2404	1.事例から、認知症・せん妄ケアの基本的知識を復習し、パーソンセンタードケアの概念に基づく自らの看護実践に反映する 2.各部署での取り組みを発表会を通して共有し、学びほぐしを行い自らの看護実践に活かすことができる	演習支援（ラウンド） 認知症ケア認定看護師 各部署実地指導者 教育担当者	<b>[OJT]</b> 5月9日（木）終日
フィジカルアセスメント入門（バイタルサインと全身観察） /◎手術室 ○救急 外来	(6) (9) (10) (11) (25)	AA2451	1.日常の看護実践に必要なバイタルサインやフィジカルイグザミネーションから情報を得て、対象の病態生理や治療について助言を得ながら統合して観察・ケアに活かすことができる 2.バイタルサイン、フィジカルイグザミネーションから、対象のニーズに基づきケア看護師に報告できる 3. <b>患者の病態・病状から行われている治療を理解し、観察・ケアに活かすことができる（NEW）</b>	急性・重症看護専門看護師 診療看護師	5月21日（火） 9時～15時

### 6月

研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
フィジカルアセスメントFU（認知症・せん妄ケア） /◎7HCU ○6B	(10) (11) (18) (19) (21) ※レベルⅠ認定済みのものは (64) (66) (67) (68)	BD2451/2452/2453/ 2454	1.認知症・せん妄ケアの基本的知識を復習し、パーソンセンタードケアの概念が分かる 2.助言を得ながら不穏やADL低下を防ぐケアについて計画立案、実践、評価ができる	認知症ケア認定看護師	6月18日（火） 9時～12時30分
地域看護（退院支援）FU	(37) (38) (39) (40)	HG2401/2402/2403	1.患者の退院後の生活を見据えた看護師としての関りを振り返る 2.地域で暮らすために必要な情報が分かる 3.患者が退院したその日から生活が営むための社会資源が分かる（事例） 4.医療保険、介護保険の仕組みが分かり患者の退院後の受診行動が予測できる	退院支援カンファレンスに事例を提案し、カンファレンスを実施（1事例/年）提出 <b>※別途案内</b>	6月～12月まで各部署 で実施 <b>後日報告書を提出</b>
ピアサポート メンタルヘルス	(34) (79)	CK2452	1.互いに成長を認め合い、同期同士の支援を構築できる 2.セルフケアを振り返り、こころの健康を保つための自己の取り組みを再構築できる	教育責任者 公認心理師	6月18日（火） 15時30分～17時

### 7月

研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
与薬の技術1（基礎知識：保助看法・倫理綱領） /◎産科 ○6B	(6) (25)	秋田赤十字病院看護部 「静脈注射テキスト」	1.薬効、薬理作用を理解した上で、投与経路の違いに伴う薬物の作用副作用を観察、実施、報告ができる 2.解剖学に基づき、対象に合わせて安全な注射技術を行い、その後の合併症の観察、記録、報告ができる	教育責任者 <b>または</b> 新人看護職員研修運営 委員長	7月18日（木） 9時～12時30分

# 令和6年度 新人看護職員研修計画

9～10月					
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
看護過程研修	(6)～(26) (44) (45)	AA2412	1.対象に合わせた看護過程を助言を得ながら展開できる 2.ベア看護師の助言を得ながら、患者の反応や自分の行為を振り返り、課題に気づき、対処行動が取れる 3.実施した看護を看護記録記載基準に準じて記載できる <b>※研修日1週間前までに受け持ち患者の関連函を教育担当者へ提出する</b>	記録委員長/各部署記録委員 ※9月中に部署の記録委員とコンタクトを取り、記載した看護記録の監査を受ける	9月4日(水) 9:00-16:00
多重課題適応研修	(33) (34) (35) (37) (38)	AA2410	1.担当患者数名の看護実践を遂行するための優先順位を助言を得ながら決定できる 2.多重課題解決シートを活用し、助言を得ながら業務の組み立てができる 3.複数の多重課題解決における自己の課題に誠実に取り組み、修正できる <b>※本研修への取り組みにより、日勤・夜勤の自立判断となる</b> <b>※業務の自立判断は部署管理者が決定する</b>	各部署教育担当者/ 実地指導者	<b>【OJT】</b> 10月7日(木) 11月7日(木) 8:30-16:00 16:00-17:00 リフレクション
フィジカルアセスメント演習(全身観察評価) /◎ 救急外来 ○3HCUCU7HCU	(6) (12) (14)	AA2401	1.担当患者の「身体情報」を呼吸器系、循環系、栄養、消化系、感覚系、中枢神経系、運動系から助言を得ながら収集できる 2.担当患者の「普段と違う」気づきをベア看護師に報告し、助言を得ながら対処行動ができる	急性・重症看護専門看護師 診療看護師	9月19日(木) 9時～15時
看護倫理FU/ ◎副委員長	(15) (16) (19) (20)	CD2403	1.赤十字基本原則を理解し、優先順位を判断する際に活用することができる 2.「看護者の倫理綱領：日本看護協会」の実践が赤十字原則に繋がることに臨床場面で気づくことができる 3.臨床場面で倫理上の問題に気づき、カンファレンスに提示することができる	各部署部署倫理委員	<b>【OJT】</b> 部署で9月～10月中に 計画する 倫理事例検討を部署で実施し、 <b>後日報告書を提出</b>
急変時の対応演習 (正常な心電図波形と危険な波形) (急変時の初動対応) /◎救急外来 ○ICU ○手術室	(12) (14)	AA2454/2455	1.急変とは何かが説明できる 2.急変を見逃さないための観察のポイントを説明できる 3.急変時の心構えと先輩看護師との情報共有のポイントが説明できる 4.担当患者が「普段の様子と違う」ことに気づいた場合の初動対応が実施できる	救急外来部長/迅速対応チーム リーダー	9月26日(木) 9時～15時
フィジカルアセスメントFU(症状・生体機能技術：採血・血糖測定・換体の取り扱い・パニック値の報告) /◎ICU ○3HCU	(6) (18) (21) (22)	AA2460	1.静脈血採血手順を習得し検体の取り扱いと検査結果反映までの院内のシステムが分かる 2.血糖測定の手順を習得し、低血糖・高血糖時の反応が分かり、ベア看護師に報告し対処行動がとれる 3.観察に活かす検査値の見方を習得する 4.パニック値となった場合の報告を医師へ-SBARCで報告できる	各部署教育担当者または プリセプター	10月2日(水) 9時～15時
排泄援助技術演習 (浣腸・排便、尿道留置カテーテル) ◎3HCU ○4B	(18) (19) (20) (21) (22)	AA2405 当院医療安全研修会資料	1.医療安全基準、看護基準・手順に基づいた正しい手技を獲得し、助言を得ながら実践できる 2.尿道損傷の発生機序が分かり、説明できる 3.直腸粘膜損傷の発生機序が分かり、説明できる 4.患者へ侵襲のある技術を提供する場合の判断を述べるができる	各部署教育担当者または プリセプター	10月10日(木) 9時～16時
グローバルヘルスマ 門/◎副委員長	(50) (51) (52)	GT2454 他：厚生労働省人口動態 統計	1.国内外の保健、医療、看護、福祉の動向に関心を持つことができる 2.当院に受診する外国人などの特性と健康問題を知り、入院場での看護上の課題に気づくことができる	新人看護職員研修運営 委員長	10月24日(木) 13時30分～15時

11月					
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
看護倫理FU/ ◎副委員長	(15) (16) (19) (20)	CD2403	1.臨床場での倫理上の問題に気づき、カンファレンスに提示することができる	各部署部署倫理委員	<b>【OJT】</b> 11月12日(火) 倫理事例検討を部署で実施し、 <b>後日報告書を提出</b>
注射の基本その1 (皮下、皮下、筋肉内注射、採血) /◎産科 ○6B	(6) (25)	AA2458	1.薬効、薬理作用を理解した上で、投与経路の違いに伴う薬物の作用副作用を観察、実施、報告ができる 2.解剖学に基づき、対象に合わせて安全な注射技術を行い、その後の合併症の観察、記録、報告ができる	各部署教育担当者または プリセプター	11月13日(水) 9時～15時
注射の基本その2 (静脈注射：留置針、輸液ポンプ、シリンジポンプの管理) ◎5A ○5B	(6) (25)	AA2404/2459	秋田赤十字病院看護部静脈注射教育計画に準じる ※静脈注射実施基準【レベル1】 【レベル2薬剤投与時の生食ロック・ヘパリンロックまで】 【レベル3末梢留置針の挿入まで】 <b>※看護師には緊急時の末梢からの血管確保が求められるため</b>	各部署教育担当者	11月19日(火) 9時～16時
看取りのケア /◎7B ○産科	(11) (14) (17)	AA2407	1.患者がご逝去された場合のケアをベア看護師と協働できる 2.ご遺族の気持ちを推しはかり、看護職としての対応をベア看護師から習得できる  ※学研ビジュアルナースングメソッド「死亡時のケア」に基づき、部署の特徴を捉えた演習	各部署教育担当者	11月28日(木) 9時～14時  <b>【OJTでも可】</b>
地域看護 (退院支援) /◎5B ○新生児	(37) (38) (39) (40)	HG2401/2402/2403	1.患者の退院後の生活を見据えた看護師としての関りを振り返る 2.地域で暮らすために必要な情報が分かる 3.患者が退院したその日から生活が営むための社会資源が分かる(事例) 4.医療保険、介護保険の仕組みが分かり患者の退院後の受診行動が予測できる	退院支援カンファレンスに事例を提案し、カンファレンスを実施(1事例/年)提出 <b>※別途案内</b>	11月中部署で計画 <b>報告書を後日提出</b>

# 令和6年度 新人看護職員研修計画

12月～3月					
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
看護職としてのキャリア /◎委員長	(43) (44) (45)	CK2403/2453	1.赤十字施設ラダーシステムを想起し、自身の目標を立案できる 2.3段階法による「看護観」概念化し、進みたい道を思い描くことができる 3.1年後、5年後、10年後の目標を立て、そこまでに必要な項目を列挙できる	教育委員長	12月6日(金) 13時～15時
正しいME機器の取り扱いとトラブルシューティング (人工呼吸器、ASV、NHF) / ◎ ICU ○新生児	(6) (9) (10) (11) (26) ※レベルI 認定済みのものは (59) (63)	AA2456	1.正しい機器類の取り扱いを習得し、OJTで担当患者の看護実践に活かすことができる 2.機器類の作動状況を管理し、異常発見時の対応がOJTでできる	臨床工学技士	R7/2月20日(木) 13時30分～16時
静脈注射レベル3予習研修 /◎6B ○6A		AA2409	秋田赤十字病院看護部静脈注射教育計画に準じる 1.輸血療法が必要な場合の手順が説明できる 2.劇毒物の取り扱い方法が説明できる 3.麻薬の取り扱いが説明できる ※本研修受講し、翌年度静脈注射レベル3研修受講が必須	各部署教育担当者	R7/3月14日(木) 8時30分～12時30分
看護の振り返り研修【ナラティブ発表準備】		GT2454	1年間の看護観を概念化し、2年目の自分の目標を設定できる	新人看護職員研修運営委員長	R7/3月14日(木) 13時30分～15時
令和6年度教育担当者振り返り研修		ALB2401/ALB2453 ALB2303	1.部門における教育体制を理解し、新人看護職員研修ガイドラインを活用した行動ができる 2.部署における教育上の課題を持ち、部署新人教育上のPDCAサイクルを回すことができる	新人看護職員研修運営委員長 または教育責任者	R7/3月13日(水) 9時～16時
令和7年度教育担当者研修		ALB2401/ALB2453 ALB2303	1.部門における教育体制を理解し、新人看護職員研修ガイドラインを活用した行動ができる 2.部署における教育上の課題を持ち、部署新人教育上のPDCAサイクルを回すことができる	教育責任者または 新人看護職員研修運営委員長	R7/3月21日(木) 9時～16時
令和7年度プリセプター研修 (実地指導者が参加しても良い)	(92) (93) (94)	ALA2351/2452/2453	1.新人看護職員教育ガイドラインから、プリセプターの役割・求められる行動・態度を理解し実践できる 2.教育技法を学び、実践できる	新人看護職員研修運営委員会小グループ	R7/3月25日(月) 16時～
必須					
部署別学習会への参加			部署に代表的な疾患、病態生理、看護の特徴は受け持ち患者の関連図作成時に実地指導者(レベルII以上)のスタッフから助言をもらいながら作成、看護過程を展開することで1回参加とする ※令和5年～方略変更		

## 臨床看護実践実践力を積み重ねるための概念図

